

日本学生支援機構奨学金（第一種・第二種）継続手続きについて

現在、日本学生支援機構奨学金の第一種または第二種を貸与中の方は、来年度（2020年4月以降）も継続して貸与を希望するか、または今年度（2020年3月まで）で辞退するか意思表示を、インターネットより手続きをおこなう必要があります。今年度で辞退する場合もこの手続きが必要です。この手続きを怠ると、奨学金が“廃止”となります。 ※廃止になると、今後奨学金の貸与を希望しても受けることができません。

◎奨学金継続願 〈インターネット(スカラネットパーソナル)入力〉◎

入力期間：

2019年12月13日（金）～2020年1月17日（金）23:59

※12月28日～1月5日の期間は、年末年始のため入力できません。

【入力方法】

①別紙の「奨学金継続願 入力準備用紙」に、1年間の経済状況を記入する。

②スカラネット・パーソナル（スカラネット PS）にログインする。

（スカラネット PS URL：https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/login_open.do）

※初めて利用の方は上記 URL から登録が必要です（口座情報・奨学生番号入力必要）。

また、既に登録している方も、ログイン時に奨学生番号が必要となります。

③画面の指示に従い、「奨学金継続願 入力準備用紙」の内容を入力する。

※以下から P4 まで、入力に関わっての注意事項を記していますので、「奨学金継続願 入力準備用紙」の内容とあわせて、確認をしながら入力を進めてください。

【入力時の注意事項】

※ 継続を希望しない場合も、インターネットでの入力手続（辞退）が必要です。

※ 第一種・第二種を併用受給されている方は、それぞれ入力が必要です。（2回入力する必要あり）

※ 主たる家計支持者の所得金額の入力が必要です。源泉徴収票や確定申告書（控）等を手元に準備して下さい。（これらの書類を大学や機構に提出する必要はありません）

※ 継続の結果について個別の通知はありません。2020年4月21日（火）の入金をもってご確認下さい。

o.go.jp/ac/demo/tekikaku/ps01/02_02_syogkseibgKakunin.html

奨学生番号の入力が必要です。

併用貸与している方は、第 1 種、第 2 種どちらか一方の番号を入力してください。

※奨学生番号は奨学生証、返還誓約書の控え等で確認してください。

色で塗りつぶされている部分を
クリックしてください。
入力後、灰色になっていれば
手続き完了です。

2020 年 3 月分までの振込みで奨学金の
受給は終了となります。

※受給終了後は、返還手続きが必要で
す。4 月以降、大学からの案内に従い、
手続きを行って下さい。

※在学中は奨学金の返還を猶予するこ
とができます。詳細は返還手続きの案内と
あわせてお知らせします。

4) ◇入力画面3／6 「F－返還の義務」・「G－学業不振の場合の処置」

続順 - 返還の義務 (3/6) - Internet Explorer
http://ac/demo/tekikaku/01/05_01_KSCentry4.html

日本学生支援機構 **奨学金継続願**

現在の表示画面は3/6です。

F－返還の義務
奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思で学業を遂げるためのものです。
また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任をもって返還することができません。

- ☐ 返還の義務を自覚している
- ☐ 返還の義務を自覚していない

G－学業不振の場合の処置
以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の交付について「廃止」(又は「停止」)とされます。

- 卒業延期が確定した(又は卒業延期の可能性が極めて高い)場合
- 当年度の修得単位(科目)数が皆無の(又は極めて少ない)場合

- ☐ 学業不振の場合の処置について理解している
- ☐ 学業不振の場合の処置について理解していない

内容を確認し、正しい場合は「送信」ボタンを押してください。次の画面に進みます。

注意！！

Fの設問で「返還の義務を自覚していない」、

Gの設問で「学業不振の場合の処置について理解していない」

を選択すると、2020年3月をもって、

奨学金が廃止となってしまいます。

誤入力の場合であっても、あらためて奨学金の新規申し込みが必要となりますので注意してください。

5) 入力画面4／6 「H－経済状況」

日本学生支援機構 **奨学金継続願**

現在の表示画面は4/6です。

H－経済状況 [あなたが貸与を受けている奨学金が、あなたの経済状況からみて適切であるかを確認するために使用されます。]

1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。
あてはまるもの一つを選択してください。

- ☐ (1) 好転した
- ☐ (2) ほぼ変わらない
- ☐ (3) 悪くなった

2. 主として家計を支えている人(父、母、祖父、祖母など)の昨年1年間(1月～12月)の所得金額を記入してください。(必須)
(注1) 所得金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。
(注2) 1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 給与所得の場合	1) 源泉徴収票等における支払金額	万円 半角数字
2) 給与所得以外の場合	2) 確定申告の控における収入・売上金額	万円 半角数字
	所得金額	万円 半角数字

3. その他の家計を支えている人(父、母など)の昨年1年間(1月～12月)の所得金額を記入してください。
(注1) 所得金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を閉じ、確認後最初からやり直してください。
(注2) 1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 給与所得の場合	1) 源泉徴収票等における支払金額	万円 半角数字
2) 給与所得以外の場合	2) 確定申告の控における収入・売上金額	万円 半角数字
	所得金額	万円 半角数字

4. あなたは現在家族と同居していますか。
※選択内容に応じて、収入・支出の入力項目が表示されます。

- ☐ (1) はい
- ☒ (2) いいえ

★学部生のみ入力

※入力の際には、家計支持者の源泉徴収票や確定申告書の控え等を手元に準備し入力を行ってください。

1) 「給与所得の場合」とは

主に会社員・公務員・団体職員で、給与を受けている場合を指します。

2) 「給与所得以外の場合」とは

主に自営業や不動産収入等のある場合を指します。

※収入がない項目は、金額欄に「0」と入力してください。

注意

* 次頁の画面サンプルは、「いいえ」を選択した学部生の場合です。

(「はい」(家族と同居している)を選択した場合、次ページのサンプル画面にある「家賃」の回答項目がありません。)

※学生本人の経済状況「収入額と支出額の詳細」(年間)の入力項目には注意が必要です。

(収入や支出がない場合は空欄にせず、「0」と入力)

5. あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。(必須)
 (注1)収入に関する金額がわからない場合は右上の「×」ボタンを押してこの画面を開き、確認後最初からやり直してください。
 (注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 家庭からの給付 (両親等からの仕送り、家庭が支払った授業料・施設費などの学校納付金・家賃含む)	96 万円 半角数字
2) 日本学生支援機構の奨学金 ※貸与額通知書に記載されている振込額の合計が表示されています。	8000 万円 半角数字
3) 日本学生支援機構以外	0 万円 半角数字
4) アルバイト等収入	60 万円 半角数字
5) その他	10 万円 半角数字
	24600 万円

6) その他

使途不明の支出や、将来の学資支出を見込んだ蓄えなどは、支出「その他」に算入してください。

1 回生のみ入学金 30 万円を加算してください。

(注2)1万円未満は切り捨てて入力してください。

1) 学費(授業料・施設費などの学校納付金等を含む)

※「収入合計－支出合計＝0万円」となることが望ましい。

(支出超過となると、入力に誤りがあると判断され、警告文が表示されます。)

7) 機関保証制度の保証料

※100円未満は切り捨てて表示されています。

支出合計 (自動計算)

1) 学費 84 万円
半角数字

2) 修学費 30 万円
半角数字

3) 家賃 72 万円
半角数字

4) 食費 36 万円
半角数字

5) 光熱水料通信費 12 万円
半角数字

6) その他 12 万円
半角数字

7) 保証料 000 万円
半角数字

24600 万円

7. あなたの前年度12月から今年度11月の収入と支出の差額は、以下の額になります。確認してください。

収入合計－支出合計 000 万円

8. あなたの経済状況を具体的に説明してください。(全角200文字以内・必須)

学部・学科・専攻		1回生	2回生	3回生以上
衣笠	法	80	96	96
	現代社会科学子ども社会専攻	104	120	120
	現代社会科学子ども社会専攻以外	98	114	114
	国際関係	109	125	125
	※学科による差はありません。			
	地域研究学域	97	113	113
文	人間研究学域教育人間学専攻、日本史研究学域考古学・文化遺産専攻	95	113	113
	上記以外	95	111	111
	映像	168	184	184
O I C	経営	80	96	96
	国際経営学科	93	109	109
	政策科	99	115	115
	総合心理	103	119	119
B K C	グローバル教養学部	230	—	—
	経済	84	100	100
	国際経済学科	—	—	—
	理工	133	149	149
	数理科学科	139	155	155
	数理科学科以外	104	120	—
	食マネジメント	139	155	155
	情報理工	142	158	158
	生命科	210	231	231
	薬	163	179	179
薬	創薬科学科	104	120	120
	スポーツ健康科			

【要注意！】収入合計－支出合計の値が『学部生 36 万円以上・大学院生 45 万円以上』になると、指導の上、次年度の月額を減額する措置が必要となります！！

(現在の貸与月額の減額を希望しない方(減額が困難な方)は、学部生：0～35万円、大学院生：0～44万円の範囲内の値となるよう調整して入力してください。)

6) ◇入力画面5/6 「Iー学生生活の状況」・「Jー学修の状況」

(注) 記述欄は全角 200 文字以内で入力してください。入力がない場合や、半角文字を入力した場合は、エラーになります。

7) ◇入力画面6/6 「Kーアンケート」 アンケートの各設問に答えて下さい。

⇒◇入力内容確認画面⇒奨学金継続願受付画面

画面に表示される「受付番号」は、継続願を提出したことを証明する大切な番号です。必ずメモをとった上で、「終了します」ボタンをおしてください。受付番号を印刷する、画像保存する等、自身で管理してください。

■問い合わせ先■

【衣笠、朱雀キャンパス】 衣笠学生オフィス<研心館 2F> Tel : 075-465-8168

【びわこ・くさつキャンパス】 BKC 学生オフィス<セントラルアーク 1F> Tel : 077-561-2854

【大阪いばらきキャンパス】 OIC 学生オフィス<AS 事務室内 1F> Tel : 072-665-2135

※12/28(土)～1/5(日)の期間は、冬期休暇のため窓口を閉室しています。